

令和5年7月31日（月）、運用改善を主な目的として、裁判員等経験者意見交換会を実施しました。

当日は、6名の裁判員等経験者にご参加いただき、裁判官、検察官、弁護士を交えて、意見交換をしていただきました。頂いたご意見等の一部をご紹介します。

裁判員等を経験しての感想

- ・ 審理の中で出てくる法律用語については、のちに裁判官が丁寧に説明してくれたので理解することができました。
- ・ 証拠書類の取調べの時間が長かったが、詳しい説明があったからこそ、分かることもあったと思います。
- ・ 何の手続きかは覚えていませんが、弁護人も表のようなものを示してくださって、視覚的にも私たちに分かりやすく説明してくださっていました。
- ・ 犯行態様が映っている動画を見たくはありませんでしたが、結果的には「見てよかった」と思いました。ただ、事案によっては、その動画を見て気分を悪くする人もいると思います。
- ・ 評議では、みなさん活発に意見を言えていたと思います。ただ、みなさんが言っていることが分かるからこそ、そこと違う自分の細かな意見を結構言えなかったりしました。葛藤みたいなものもあって、ストレスに感じることもありました。
- ・ 評議では、裁判官が一人一人の率直な意見を引き出してくださっていたように思います。みんなで一生懸命議論したなという印象が残っております。

これから裁判員等になられる方へのメッセージ

- ・ 大変良い経験になりました。裁判員になられた方には、頑張ってもらいたいと思います。
- ・ 良い経験になったのは間違いありません。ただ、心理的なストレスは少なからずあります。良い経験だからやった方がいいよというのは、内容によるかなというのが正直な印象です。
- ・ 個人的には、経験してよかったと思っています。サラリーマンをやっている中でなかなか経験できないことを、経験できたなと思います。
- ・ 大変良い経験になりました。自分が生きてきて、こんな経験ができるんだというくらいの経験ができたと思います。是非、経験していただきたいと思います。